



なかまと楽しく いきいき人生

目次

- ・ 総会案内……………①
- ・ 総会議案……………②～④
- 2010年度経過報告／同
決算報告／同会計監査
報告／2011年度方針案
／同予算案
- ・ 東日本大震災「相馬レ
ポート」……………⑤
- ・ 「会員紹介」佐藤安弘
さん／楽しい料理教室
……………⑥
- ・ 趣味の会 こだま会ス
キー／鎌倉山周辺の新
緑を訪ねる／予告…⑦
- ・ こだま俳壇・吟行…⑧

小江戸から21世紀へ

「小江戸から21世紀へ」と題したこだま会・春の小旅行を4月13日、楽しんだ。浜松町駅に隣接した「芝離宮」と「浜離宮」は、大都会の喧騒のなかにぽっかりと異空間が残されている貴重な庭園。「浜離宮」から水上バスで隅田川へ。水上バスの屋根すれすれにくぐつていく橋々は、「勝鬃橋」「永代橋」「清洲橋」「厩橋」「駒形橋」…と、歴史遺産として優れ、景観も素晴らしい。と思っっているうちにスカイツリーが眼前に現れた。

(鳥居伸太郎)



スカイツリー (写真撮影：生方武羅夫さん)



神奈川県
職 労 連

退職者こだま会第27回定期総会のご案内

とき 6月22日(水)
13時30分開会

ところ 横浜市開港記念会館・2階6号室(県庁前)
(会場が神奈川自治会館から変わりましたのでお間違いなく)



みなさん、いかがお過ごしですか。

毎年、たくさんの会員が総会に集います。この1年をふりかえり、新しい運動方針をみんなで作っていきましょう。総会終了後、16時から神奈川自治会館2階の『ラウンジはま風』で懇親会を開きます。軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときをすごしましょう。なお、総会の会場は「横浜市開港記念会館」(県庁前) ですので、お間違いのないようにしてください。

神奈川県職労連 退職者こだま会第27回定期総会議案

〔第1号議案〕

2010年度経過報告

I はじめに

国民の期待を一定担って誕生した鳩山民主党政権は、普天間基地の辺野古移設問題等で混迷を深め総辞職。政権は昨年6月、菅内閣に引き継がれました。

しかし、菅政権は、後期高齢者医療制度の当面存続を始め、普天間基地の辺野古移設強行政策、消費税の大増税などを進め、7月の参議院選挙で大敗し、衆議院と参議院の勢力がねじれる結果となりました。

さらにその後、「政治とカネ」や相次ぐ選挙違反による議員辞職、衆院比例選出議員16人の会派離脱、閣僚の辞任、議員の離党、外務大臣と総理の政治資金規正法違反などが続き、国民の政治不信は一挙に広がりました。

3月11日午後2時46分、宮城県女川町沖でM9.0の大地震が発生。激震と大津波による福島原発の事故などで未曾有の災害となり、死者14,949人、行方不明者9,880人(警察庁まとめ5月10日現在)

の東日本大震災となりました。災害地以遠の地域にも計画停電や放射能汚染など、国民生活に大きな被害を残しています。被災された方に心からのお見舞いを申し上げます。

4月10日投票で実施された県知事選挙では、自・民・公相乗りの黒岩祐治氏が当選しました。「脱原発」は示したものの、県政運営の基本政策は示されませんでした。

II 主な事業と会員参加の趣味活動

昨年6月、「つたえたい想い―神奈川県職員の戦中体験を若い世代へ」を500部発行しました。執筆者や会員の普及活動、平和学習会での普及、新聞報道もあって、ほぼ完売しました。読まれた方から多数賞賛の声が寄せられています。

昨年11月19日には相模原で「高齢期の健康なすごし方―加齢は華麗に」をテーマに「健康講座」を開きました。

神奈川県自治労連退職者会の「手づくり文化祭」は11月3日に横浜市従会館で開かれ、こだま会からは演芸や踊り、俳句、絵画、ビーズ手芸、絵手紙、写真などで参加しました。会員の趣味や特技をいかした楽し

く交流を深める活動は、俳句の会や囲碁同好会、歴史教室などが定着しています。

○歴史教室(講義…6月、11月、散策…9月)

○楽しい俳句教室(毎月第2木曜日)

○囲碁同好会(毎月第1日曜日)

○スキー旅行(2月、蔵王2泊3日)

○農業体験・援農を楽しむ会(10月)

○食文化を楽しむ会・薬膳料理(7月、11月)

○楽しい料理教室(3月)

○ハイキング、小旅行(6月)

などが企画・運営されています。趣味の会の世話人の皆さんのとり

くみに感謝し、これからもより一層、お世話くださる方が増えることを期待しています。

III 会員の加入状況と会の運営

1、会員を増やすとりくみ

会員総数は2011年3月末現在1,352人。今年度の加入者は29人(前年度は44人)。加入の働きかけは、県の退職者説明会5回(1月中旬～2月中旬)と県職労各支部の「退職者慰労の集い」で実施。また、

火災共済の更新手続きの際、加入資料を同封して加入を呼びかけました。

2、会の運営

毎週火曜日を軸とした事務作業と、定例4役事務局会議、幹事会を

開催して進めました。3、「こだま会報」の発行とホームページの充実

会員をつなぐ『こだま会報』は、年金、医療、介護、増税問題などの情報をはじめ趣味活動や高齢期運動のとりくみなどを企画し、計画どおり年4回発行しました。集団編集を基本に、会員が多く登場する会報をめざしました。

会のホームページは、発行した『会報』のアップや各種行事の案内などを掲載しました。会員からの季節の便りや写真、地域の話題、暮らしの情報なども発信しています。

4、高齢期運動への参加と共同のとりくみ

全国自治体退職者会連絡会第13回定期総会が8月21日広島で開かれ、「熱中症」や「消えた高齢者」問題、団塊の世代が数年後後期高齢者に加わり毎年10万人単位で増え、医療、介護、年金など社会保障問題が焦点になるなど、活発な議論がされました。「第24回日本高齢者大会in水戸」(9月13日～14日)に代表2人、第6回「輝け高齢期かながわのつどい」(11月17日・川崎産業振興会館)に代表3人が参加しました。

「神奈川県職員九条の会」の運動は5年を超え、会員の地元では、地域の「九条の会」の立ち上げや世話

2010年度(平成22年度)一般会計収支決算書

(2010年4月1日~2011年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			
項 目	予算額	決算額	摘 要
年 会 費	240,500	277,500	3000×90口+4000×1口+3500×1
終 身 会 費	875,000	550,000	25,000×22
県職労連交付金	685,000	685,000	
共済助成費	1,150,000	1,228,887	
雑 収 入	195,724	408,700	『つたえたい想い』 209,400 個人負担等199,300
積立金繰入金	550,000	552,599	
寄 付 金	0	6,000	
前年度繰越金	1,028,776	1,028,776	
合 計	4,725,000	4,737,462	

支 出			
項 目	予算額	決算額	摘 要
事務局費	850,000	529,190	
行 動 費	350,000	177,480	
広 報 費	1,250,000	1,129,920	『つたえたい想い』 299,250
総 会 費	450,000	349,006	
会 議 費	450,000	342,800	
通 信 費	250,000	274,330	
弔 慰 金	100,000	70,000	5000×14
負 担 金	50,000	50,000	神奈川県職労連退職者会
積立金繰出金	875,000	875,000	
予 備 費	100,000	0	
次年度繰越金		939,736	
合 計	4,725,000	4,737,462	

2010年度(平成22年度)積立金会計収支決算書

(2010年4月1日~2011年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			
項 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	15,448,000	15,448,000	
本年度収入	892,000	894,031	
内訳			
積立金	(875,000)	(875,000)	終身会費及び 一般会計より 繰入分
利 息	(17,000)	(19,031)	
合 計	16,340,000	16,342,031	

支 出			
項 目	予算額	決算額	摘 要
本年度支出	550,000	552,599	
次年度繰越金	15,790,000	15,789,432	
合 計	16,340,000	16,342,031	

会計監査報告

会計監査報告

2011年4月19日

神奈川県職労連退職者こだま会
代表幹事 生方武羅夫 殿

2011年4月19日、こだま会事務室において2010年度一般会計及び2010年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、支出証拠書類、預金通帳等監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

会計監査 木村武子 (印)
会計監査 辻村 博 (印)

国民健康保険の09年度の収納率が8割台に低下しているなかで、厚労省は滞納者への強引なとりたてや差し押さえを強行しています。後期高齢者医療制度の見直しは1年間先延ばしにされましたが、従来の姥捨山の考えと変わるものではありません。介護保険制度は、「要支援」者を介護保険外にし、給付対象を減

と増加し、年間所得は平均29.7万円と毎年下がっています。半数以上の高齢者世帯が「生活が苦しい」と回答し、貧困で厳しい生活を余儀なくされています。1人ぐらしの高齢者(65歳以上)も年々増え続け、高齢者の平均国民年金受給額は月額5万3千円(2010年)、生活の厳しさを痛感する世帯の割合は上昇傾向となっています。

3、住民のくらしを守る県政を
神奈川県政は、財政危機の名のもとに職員削減を進め、知事部局は2003年度から2010年度にかけて4,009人も削減しました。さらに、正規職員を非正規職員に置き換えるなど、職場に労働強化とストレスの拡大、仕事の質の低下をもたらしています。
また、出先機関の再編・組織統合、

「安全神話」のもとで推進されてきた原子力発電の危険性が現実のものとなりました。福島原発の事故による放射能汚染は深刻さを増し、被災者は二重三重に苦しめられています。「地震は防げなくても、政治の力で、地震による災害は防ぐことができる」との視点で、さまざまとりくみをしていきたいと思います。

らそうとしています。
TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加問題では、2015年までに関税撤廃だけでなく、医療、公共事業、保険、労働力まで自由化しようとしています。農業だけでなく、日本の社会・文化のあり方まで影響する大問題です。
2、災害を防ぐさまざまなくみ
今年3月11日に起こった「東日本大震災」は、私たちの生活や暮らしに大きな影響をもたらしています。大地震に加え、大津波による被害、「安全神話」のもとで推進されてきた原子力発電の危険性が現実のものとなり、被災者は二重三重に苦しめられています。「地震は防げなくても、政治の力で、地震による災害は防ぐことができる」との視点で、さまざまとりくみをしていきたいと思います。

〔第2号議案〕

2011年度活動方針(案)

I 私たちをとりまく情勢

1、国民のくらしは
2009年の国民生活基礎調査によると、高齢者世帯は全世帯の20%

役、事務局などで多くの会員が活躍しています。

全国自治体退職者会連絡会には前年同様1人を、神奈川県職労連退職者会には5人を役員として送り、総会をはじめ年間の活動に協力、参加しています。

なお、全国自治体退職者会連絡会は毎年3月、厚生労働省と年金、介護保険、国民健康保険制度などの要

求を提出し交渉をしています。

2011年度(平成23年度)一般会計収支予算書(案)

(2011年4月1日~2012年3月31日)

(単位:円)			(単位:円)		
収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
年 会 費	272,000	3,000×90口+2000×1口	事 務 局 費	850,000	
終 身 会 費	500,000	25,000×20	行 動 費	350,000	
県職労連交付金	685,000		広 報 費	1,100,000	
共 済 助 成 費	1,200,000		総 会 費	450,000	
雑 収	183,264		会 議 費	450,000	
積立金繰入金	550,000		通 信 費	380,000	
寄 付 金	0		弔 慰 金	100,000	5000×20
前年度繰越金	939,736		負 担 金	50,000	神奈川県自治労連退職者連絡会
合 計	4,330,000		積立金繰出金	500,000	積立金会計へ繰り出し
			予 備 費	100,000	
			合 計	4,330,000	

独立行政法人化、民間委託化、市町への権限移譲などで、県民生活を支える県政の役割、県民サービスの低下が進んでいます。出先機関の一連の再編は、県の役割の縮小に他ならず、道州制につながるのではないのでしょうか。新知事の政策を見極めていく必要があります。

東日本大震災時にみられたように、被災地域での自治体労働者の果たす役割は大きく、大災害から住民

2011年度(平成23年度)積立金会計収支予算書(案)

(2011年4月1日~2012年3月31日)

(単位:円)			(単位:円)		
収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,789,432		本年度支出	550,000	一般会計へ繰り出し
本年度取入	510,568		次年度繰越金	15,750,000	
内 積立金	500,000	一般会計から繰り入れ	合 計	16,300,000	
内 利 息	(10,568)				
合 計	16,300,000				

のいのちとくらしを守る自治体職員を充実させる運動を進めましょう。

4、これからの方向

後期高齢者医療制度の廃止や高齢者の医療費無料化をめざす運動が、各地で進んでいます。「医療費ゼロ」の運動、高齢者の生活とくらしを守る高齢期運動、市町村で国民健康保険の保険料の引き下げをさせた運動などがあります。公契約条例や住宅リフォーム制度など、様々な地域要

求も実現しています。

「東日本大震災」被災者の支援、放射能汚染などの新たな課題にもとりくみます。課題はたくさんあります。全国の退職者組織と連携した運動で、力を合わせて安心してくらしを、住みよい社会づくりをめざすと、りくみを進めましょう。

II 活動の目標

1、永年、県政にそれぞれの経験と知識を発揮してきた人たちが「こだま会」運動を支えています。趣味を生かした文化・レクリエーションなどの活動がとりくまれていきます。会員の仲間づくりや交流の場をさらに多く設け、旺盛で楽しい実りある活動にしていきたいと思います。

2、高齢者の安心した生活やくらしのために、保健、医療、福祉制度の充実をはかります。「神奈川県職員九条の会」と連携し、憲法9条擁護の運動をすすめます。また、「財政危機と福祉政策」に名を借りた消費税の引き上げには反対します。

3、有利で安心な火災共済・自動車共済・がん保険などの福利厚生事業や、法律・年金・税金・介護保険・成年後見制度・住宅バリアフリー化など、身近な問題での相談

活動や専門家の紹介活動を充実します。

4、神奈川県職労連との協力、連携を強めるとともに、全国自治体退職者連絡会をはじめ、県内の民主団体と協力して、生活とくらしを守る運動に参加します。

III 活動の計画

1、健康を第一に 会員の一番の関心事は健康問題です。引き続き「健康講座」を開催します。また日本経済の動向と不況などの経済講座、時事講座、歴史講座などを計画します。

2、楽しい集いの計画 みんなで楽しめる集い、お花見会やみかん狩りなどを計画をします。

3、趣味の会の活動を旺盛に 特技や趣味を生かしたさまざまな「会」が活動しています。こんなことをやってみたいなどの自主活動を援助し、活動の充実を図ります。

4、「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会)の充実 年に一度の神奈川県自治労連退職者会が計画する「手づくり文化祭」にたくさんの方が参加できるよう援助し、他の退職者会の会員との交流を深めていきます。

5、「こだま会報」の内容の拡充 年4回、定期的に発行される『こ

「だま会報」は会員の楽しみみのひとつです。発行は6月・8月・10月・

1月を予定します。6、定例の事務局活動

事務局は、平日の毎週火曜日(10時~16時)に開きます。

〈第3号議案〉

役員の見出しについて(当日配布)

東日本大震災 相馬レポート (蜂谷吉光)

波打つ地面、車が、屋根瓦が……そして原発事故

「3・11東日本大地震」は未曽有の被害をも

ガラガラいいながら何か落ちてきたので、声を掛け合いながら、みんないつせいに駐車場に飛び出しました。揺れが激しくて立っていられなくなり、まわりのフェンスにつかまり、フェンスと一緒に長い間、ぐらぐらと揺れていたのです。

いる。経験したことのない大地震に出会ったひと時でした。そこから3キロ海側の我が家に帰り、足の踏み場もない家のなかはそのままだに、停電と断水のないのを確かめて、まずテレビを入れる。さらに、素早く、湯ぶねと飲み水用のポリタンクに満杯の水を貯め終えたところで断水。これが、このあと給水車が来るまでの数日間の安心をもたらしてくれたのでした。

て、すぐ我が家の300坪近くまでたどり着いています。震源が近いせいで、津波の襲来も早く、逃げ遅れた人はいまだに行方不明で、かろうじて津波を逃れた人は、ひと月にもなる避難所暮らしが続いているのです。

たりました。被災地に住むことだま会の会員は6人。事務局ではすぐに連絡をとり、皆さんの無事を確認しました。福島県相馬市で被災された蜂谷吉光さんからの「相馬レポート」をお届けします。

地面が波打ち、駐車場の車が上下に別々の動き方をしながら、大きく揺れて、いつ、こつちへ突っ込んでくるのかと気になりながら、まわりの建物の揺れ方に気をとられていました。屋根瓦がばらばらと落ちて、壁が崩れて、もうもうと埃をあげて

●破壊された家が木屑となり
波におそわれた木造の家は、水に浮かび、何かにぶつかり、破壊され、はげしい波に押されて木屑となっ

●原発事故と風評被害と
そして、追い打ちをかけるような原発事故と風評被害。これはもう、はっきり人災といえるでしょう。原発の災害現場で、命をかけてがんばってくれている人たちがいるから、私たちも逃げ出さないで相馬にいられるのです。

●バドミントンの試合中にドローンと
3月11日、14時45分頃、いつものようにバドミントンの練習試合に熱が入っているときでした。「ドローン」という音とともに、

壁が崩れて、もうもうと埃をあげて

●破壊された家が木屑となり
波におそわれた木造の家は、水に浮かび、何かにぶつかり、破壊され、はげしい波に押されて木屑となっ

●原発事故と風評被害と
そして、追い打ちをかけるような原発事故と風評被害。これはもう、はっきり人災といえるでしょう。原発の災害現場で、命をかけてがんばってくれている人たちがいるから、私たちも逃げ出さないで相馬にいられるのです。

■相馬市原釜地区



高い煙突の相馬火力発電所が見えるところまで、右に住宅群、左にきれいな田んぼが広がっていた。右方1000mの相馬港からきた海水は1週間後も水たまりのままだった。

■相馬市尾浜海水浴場辺



海水浴場に近いこの食堂は鉄筋だったので形だけ残った。海水に洗われた道路は部分的に通れる所もあった。

■相馬市細田地区



写真前方の松川浦の西側から400m。我が家から300mの地点。流れ着いたもので形があるのは車と船だけ。

■相馬市新田地区



大洲海岸から2500m地点。相馬で最も美しい田園風景が一変した。海岸の防風林の木が根こそぎになって流れ着いている。

■相馬市尾浜 摂取院のお墓



津波の先端が墓地まで来た。津波の強さをうかがわせる。(いずれの写事も2011年3月18日撮影)



-31-

熱帯魚好きな少年

青木小学校から

関東学院へ。勉強

より熱帯魚飼育に

熱中。野沢屋の屋上と、三ツ沢の横

浜ガーデンへ足を運び、品評会の常

連出品者。「横浜熱帯魚アマチュア

研究会」のメンバーに

なる。

戦争のため

陸軍獣医官へ

元来の生き物好き

が、やがて東京農工大

学獣医学部(当時は東

京高農)へ。戦時中は

陸軍獣医部委託生と

なって、三軒茶屋に

あった陸軍獣医学校で

集合教育を受ける。そして、3月10

日の東京大空襲を体験、横浜の我が

家も灰燼に帰す。

終戦で県職員に

母校から連絡があり、県庁に就職

八十路なおジャズのリズムに年明け

還暦の娘を祝う桃の花

亡き妻とラ・クンパルシータ春の夢

菊を茹でて忙し者一人

秋風や男やもめの針仕事

佐藤 安弘

86歳からの挑戦

佐藤 安弘さん



することになる。以来、牛乳検査、飲食店の衛生検査など。やがて畜産課地方事務所を経て、畜産試験場養豚科長、さらに人工受精所、産肉能力検定所などの所長を兼務、いつのまにか養豚指導のプロになっていた。

早すぎた海外出張

昭和39年(東京オリンピックがあつた年)に、生産者団体から県知事へ陳情があり、「養豚生産者が米国の養豚情勢を視察しに行くので、県職員も同行してもらいたい。特に養豚試験場の佐藤養豚科長が相応しい」という内容であつた。

畜産課内部では、だいぶごたごたがあつたようだが、結局、前例のない若造の海外出張が正式に認められ、「アメリカ合衆国へ出張を命ずる」辞令が交付された。

おかげさまで、ニューヨークで開催されていた「万国博覧会」も見ることができ、アイオア、イリノイ、インディアナ、オハイオなどの農業情勢も見聞できた。当時の日本にはコンビニもスーパーもなく、アメリカの現状に強い刺激を受けた。

全農で養豚プロを發揮

昭和56年7月、3年越しの要請に応え、県を退職して全農東京支所へ移った。仕事は大半が講演会で、ほかに養豚団地の造成設計や汚水処理施設の設計などの相談。毎週出張し、週に2カ所はこなした。

これが間断なく続き、東京支所管内の関東以北に止まらず、四国、九州まで広がり、結局、全国というところになってしまった。これがよく7年間も続いたと思う。なお、昭和58年から63年にかけて、母校の東京農工大の非常勤講師も引き受けている。

一人暮らしも3年

妻に先立たれてからの2、3年は、掃除・洗濯・炊事にも苦労したが、最近では馴れてきてゆとりも生まれ、3年前から合唱団で歌っている。俳句は昨年の2月から「こだま句会」にお世話になっており、これからの努力次第というところ。

私の住んでいる逗子は、冬暖かく、夏は涼しく、遠くに波の音がすかに聞こえる程度で、高齢者には恵まれた環境といえる。

いま87歳だから、あと1年半で米寿になる。先月、長年乗ってきた愛車を思い切って廃車にした。これからは歩くことにする。

楽しい料理教室

菜の花ちらしに挑戦

東日本大震災の翌日の3月12日でしたが、電話も交通網も混乱しているなかで、いまさらキャンセルはできないと、恒例の「楽しい料理教室」を決行しました。参加者は予定の半数7人でした。

幸い会場(南太田婦人会館)も近くのスーパーも健在。



飯塚さんの指導で、「菜の花ちらしのお弁当」「カリフォルニア・ロール」「蓮根入り肉団子スープ」に挑戦。

さすがプロの腕前、手際よく捲き簾をあやつって、近頃海外で流行の鮭の出来上がり。ささやかにビール、日本酒、ホットワインで乾杯し、料理を堪能しました。自宅でも試してみようかな。

* * *

参加費の残金は、こだま会の名前で震災への募金にしました。

(山本文子)

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(講義)<第50回>
 テーマ 頼朝の旗上げに呼応した関東武士団
 と き 6月13日(月)13時30分~15時30分
 ところ 神奈川自治会館(予定)
 会 費 無料
 講 師 中村猪一郎会員
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は045(361)0112(佐藤喜治)
- 歴史教室(散策)<第51回>
 テーマ 東京・雑司ヶ谷墓地と護国寺を訪ねる
 と き 9月12日(月)9時
 集 合 JR「横浜」駅(予定)9時
 会 費 500円(交通費別)
 講 師 中村猪一郎会員
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は045(361)0112(佐藤喜治)
- 俳句教室
 月例会(毎月第2木曜日13時~)
 と き 6月9日 7月7日
 ところ 神奈川自治会館(予定)
 指 導 太田土男先生(現代俳句協会)
 会 費 500円
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は井村友彦0463(81)4493
- 薬膳料理
 と き 7月28日(木)11時~15時
 ところ 横浜市健康福祉センター調理実習室(JR桜木町駅前)
 会 費 1800円
 内 容 夏を乗り切る薬膳料理
 先 生 亀井禎子会員
 申込先 山本文子 03(3728)2227
 亀井禎子 045(332)4601
- 囲碁同好会(会場を藤沢市内に変更しました)
 月例会(毎月第1日曜日)
 場 所 囲碁サロン湘南(JR藤沢駅近く)
 0466(50)5234
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 又は青沼慶祐045(782)7665



こだま会「山形蔵王スキー」

楽しい 趣味の会

大パノラマに感動
樹氷群の自然美に時を忘れ

こだま会の「山形蔵王スキー」に2月15日から17日までの2泊3日、6人の参加で楽しんできた。お昼頃、蔵王国際ホテルに到着。早速着替えゲレンデへ。1年ぶりなので、怪我をしないように入念に準備体操してから初級コースで滑った。5時頃ホテルに戻り、源泉かけ流しの本格温泉八右衛門の湯に、ゆったりと入り満喫した。

ゲレンデコンディションは良好

2日目は天候に恵まれ、ゲレンデコンディションは良好。体を慣らし、ロープウェイ、ゴンドラと乗り継ぎ地蔵尊まで行った。眼前に広がる大パノラマに感動し、そして樹氷群、風雪に耐えて造られた数々の自然美に時間を忘れ見とれてしまった。下りはゴンドラに乗るか、ザンゲ坂を

滑るか一瞬迷ったが、思いきって滑って下りた。

樹氷原はマイ・ゲレンデ

このコースは人が少なく、樹氷原コースをマイ・ゲレンデとして思う存分滑った。参加者は体力とレベルに応じて、それぞれのコースで楽しんだ。

温泉に入り夕食。初日は山懐膳、2日目はボリユーム満点の蔵王牛のすき焼き膳、お酒を飲みながら1日の反省。スキー談議に大いに盛り上がった。最終日は昼過ぎまで滑り、惜しみながらゲレンデを後にした。

露天風呂につかり

ホテルでは露天風呂に浸かり、疲労した筋肉を癒した。荷物を整理して山形駅へ。売店で飲み物とおつま

鎌倉山周辺の

新緑を訪ねる

みを買って、車内でお酒を飲みながらスキー上達のコツ、介護の話などがつきないなか、東京駅に到着。参加者全員怪我もなく元気に帰れたことが幸い。蔵王スキーに参加できたことを感謝。次回お会いすることを願って解散しました。(菅野健児)

佛行寺のつつじなどを堪能

風薫る4月25日、こだま会の黄色い旗の下、総勢10人が大船駅に集まり、青蓮寺↓鎌倉山↓夫婦池で昼食、最後に「佛行寺」を目指しました。

新緑のなか、八重桜やフジ・山吹など春の花々を堪能しながら、目的地佛行寺に到着。

そこは赤、赤紫、橙色などのつつじが山腹にパッと広がり、息をの



新緑の鎌倉山を園見駆け 松尾佐知子

む美しさでした。大震災以来、心のなかにつかえていた塊が、この日だけは、ほんの少し小さくなったような気がしました。

こだま俳壇(4月)

一病のやはらぐ小径いぬふぐり

石崎 博美

内定も卒業式も波に消え

高橋 和江

老犬の尾も踊りたる花の下

中村 佳子

原発の神話吹き飛び彼岸寒

横川美代子

鍬杖に見えぬベクレル鳥雲に

小川 水草

倒壊の中の産青春の風

松尾佐知子

笹の葉に乗る白魚や目を閉じず

白井保次郎

北を指す救援コンテナ春浅し

田中 一男

苔までも手塩にかける五葉松

白石 為康

停電にばかり浮かぶチューリップ

鈴木志げ子

鶯や二声聞けば見たくなる

佐藤 安弘

震災も押し流したし花筏

鳥海 敏雄

紅木瓜やお宮まいりの赤子泣く

島田多嘉子

花曇り鴨会議荒れ模様

井村 友彦

疵のまま雷ふくらむ辛夷かな

坂 守

「群青」は谷村新司桜散る

三井 光子

山の寺みたらいの面に花一輪

木村 武子

桜咲く泣くことはもうやめました
太田 土男

こだま句会吟行



白泉寺の桜



吟行の皆さん(写真撮影:坂守さん)

白泉寺(秦野)観桜にゆく

煩惱のしだれ桜の中に入る

太田 土男

百年以上は経つ老樹の花枝は、
地面に届きそうに枝垂れている。

ぽっこりと枝垂れた枝のなかに囲ま
れると、花に心は吸い込まれそう。
無心ともなれる。

小田急「秦野」駅からバスと徒歩
組と、足弱は幹事心づくしの車の二
手から、白泉寺めざして山道を登る。
寺では秦野市内が見渡せ、境内は山
の寺らしい景。

六地藏馬酔木の花に囲まれて

木村 武子

花をたつぷり堪能の後、舗装され
た山道を歩き、県立戸川公園をめざ
す。水無川上流というらしいが、水
は全くなく、兩岸が「風の吊り橋」
で結ばれている。

吊り橋に寄り春嶺を望みけり

坂 守

風に吹かれながら橋を渡り、さら
に茶室へと降りていく。途中、「お
きな草」が下を向いた花をつけてお
り、初めての人は珍しがっていた。

南向きの結構な茶室は休憩所と集
会室で、昼食後、ちよつとの間、日
向ぼっこを楽しむ。

句会は10人参加。各自三句、五句
選。途中、お薄やコーヒーもいただ
ける喫茶もあって、ゆつたりのどか
な句会だった。

4月5日9時30分、秦
野駅集合。帰りは戸川公
園からバスで渋沢駅へ。
15時に散会した。
(木村武子)

編集 後記

◆3月11日、午後2時46
分「東日本大震災」。

まさに未曾有の災害が
人々を、動物を、家を、
工場を、車を：襲った。

放射能汚染でふるさとは
なくなってしまうのか。

◆被災地域にお住まいの
会員6人は、幸い無事
だった。今号では、福島

県相馬市にお住まいの蜂
谷吉光さんから「相馬レ
ポート」をお寄せいただ
いた。

◆福島原発は放射性物質
を空に、海にまきちらし、
もはや人の手におえなく
なっている。野菜も魚も
汚染され、牛が被災地に
放たれている。

◆風評被害も深刻。「安
全神話」はもはやない。
正確で科学的な情報開示
を東電と政府に求めた
い。

〈鳥海〉